学術Weeks2026

障害のある人の「本人主体」「意思決定支援」を実現する学びのデザイン

ー「あきれるほど待つ」ことを可能にする理論と実践ー

講演者 **河南 勝**

（いたみ杉の子 発達支援連携室 室長・兵庫障害者センター理事長）

今日、世界中で生涯学習の重要性が叫ばれている中、日本において、障害のある人が学校卒業後に参画できる学びの場があまりに少ないという現状があります。本企画では、エコールKOBEやKUPI（「神戸大学・学ぶ楽しみ発見プログラム」）などでの実践を通して、この課題の解決に尽力されてきた河南勝氏をお招きし、障害のある人の青年期以降の学びの場の意義や学びの場づくりの発想の源となる哲学を深めます。
特別支援学校の教師として進路指導をご担当された経験や障害のある青年の学びの場づくりの実践についてご講演いただき、青年期以降のインクルーシブな教育のあり方を参加者の皆様と共に深めていきます。



日時

2027年2月23日（火・祝）
14:00～16:00頃

申し込み

締切：2027年2月21日

※締切前でも定員に達した場合、
受付を終了いたします。ご了承ください。

会場

神戸大学鶴甲第二キャンパス
Zoom Meeting（ハイフレックス開催）
※会場の詳細、Zoom URLについては、
お申し込み後にお知らせいたします。

【企画・運営】
赤木和重（心理系・教授）、川地亜弥子（教育系・教授）
賀内望（神戸大学大学院博士課程後期課程・教育系・院生）
青木真優（神戸大学大学院博士課程前期課程・心理系・院生）
多々内風花、森阪祐貴、宮尾璃子、小熊由香里（神戸大学大学院博士課程前期課程・教育系・院生）
児玉真吾（立命館大学大学院博士課程前期課程・院生）

【お問い合わせ先】
教育系講座 教育方法学研究室　川地亜弥子
Email: kawaji@port.kobe-u.ac.jp

Academic Exchange Weeks